

新生活！地震や津波にも備えよう

～地域の避難場所などを確認しよう～

春は就学や転勤などで新天地での暮らしをはじめる方も多い季節です。新しく生活する場所がどのような災害に見舞われる危険が高いのか、早い段階で防災に関する知識を深めておくことが大切です。

お住まいになる自治体の防災マップを確認しておきましょう。近くの指定避難場所がどこなのか、どのような経路で避難すれば安全か、事前に確認することにより、いざ地震が発生したり気象台から津波警報などが発表されたとき、落ち着いて素早く行動ができます。

自分が住んでいる地域が、どのくらい地震による被害を受けやすいのか、地震の揺れに対して揺れやすい地盤をしているのか、といった情報を得るには、防災科学技術研究所の「J-SHIS 地震ハザードステーション」などをご覧くださいと参考になります。

指定避難場所や経路、連絡方法について家族で話し合い、いざという時のために備えましょう。



(凡例)

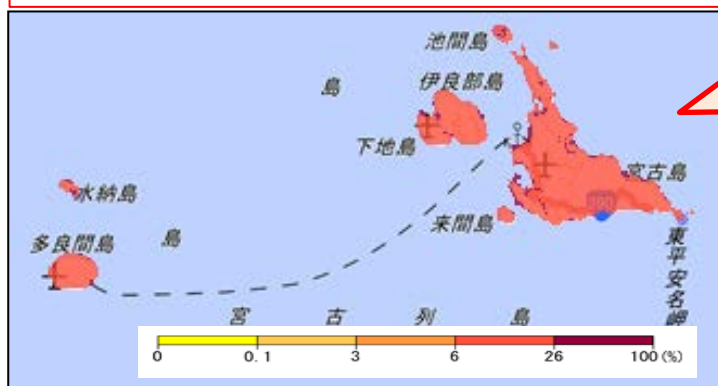
	旧市町村界		福祉避難所
	大字界		市役所
	指定避難場所		消防署

	駐在所		国道
	学校		主要地方道
	郵便局		県道

	急傾斜地崩壊危険箇所		標高 (0m～5m)
	地すべり危険箇所		標高 (5m～10m)
	公園		標高 (10m～15m)

←宮古島市HP「防災マップ」より(一部加工)
<http://www.city.miyakojima.lg.jp/kurashi/bousai/bousaijyouhou/bousaimap.html>

今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図



宮古島地方ではどこでも地震の被害を受けやすくなっています！
 いつ地震が発生しても、落ち着いて避難行動が取れるようにしておきましょう！

← 防災科学技術研究所HP
 「J-SHIS 地震ハザードステーション」より
<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/>

宮古島地方気象台

検索



宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30～17:15)